

顧問 中田 章道 七段

発行責任者 小林 壮行

1 第65期王位戦第1局大盤解説会

王位戦第1局の大盤解説会が2024年7月7日に中日ホールで開催されました。

今期の王位戦は藤井聡太王位に渡辺明九段が挑んでいます。

第1局は名古屋の徳川園で7月6～7日の両日対局があり、その解説会が7日午後2時より中日ホールで開催されました。

中日ホールが入る中日ビルは名古屋のランドマークとして長年親しまれてきましたが、本年春のリニューアルにより施設が一新され、モダンで快適な空間になって生まれ変わりました。今回の大盤解説会もその快適な環境の中で開催され、老若男女多くの参加者が来場しておりました。

解説者石田和雄九段、聞き手野原未蘭女流初段のお二人の他、立会人の藤井猛九段、副立会人の高見泰地七段も登壇され、なかなか進まない局面についての詳細な解説を行いました。さらには杉本昌隆八段や柵木幹太四段、室田伊緒女流二段らも参加し、会場を大いに盛り上げていました。

対局の方は、後手渡辺九段の作戦が奏功し、千日手となり指し直し。その後の指し直し局も終盤まで互角の一進一退の攻防が繰り広げられつつ、藤井王位の58秒作戦（石田九段命名）もあり長時間におよび、会場の都合で終局を待たずして大盤解説会は終了となりました。

それでも参加者にとっては両対局者の熱い戦いを見守るとともにプロ棋士による深い解説と楽しいお喋りに触れられ、大変満足して会場を後にすることになりました。



2 第95期棋聖戦の第3局が名古屋市内で開催。藤井七冠が勝利し最年少で永世称号。

第95期棋聖戦の第3局が、令和6年7月1日（月）に名古屋市中区の万松寺で開催されました。

藤井聡太棋聖に山崎隆之八段が挑戦しましたが、結果は後手番の藤井棋聖が100手で勝利し、3連勝のストレートでタイトルを防御しました。これで、棋聖戦5連覇を達成し、永世棋聖の資格を核としました。21歳11月での永世称号獲得は史上最年少の快挙です。1971年に永世棋聖の資格を得た中原誠16世名人の23歳11月を更新したものです。



また、7月6日から開催される第65期王位戦7番勝負では、2つ目の永世称号となる永世王位獲得を目指します。

今回の棋聖戦では、前夜祭が白龍ホールで開催されました。また当日の大盤解説会は、白龍ホールとのぶながホールで開催され、多くの参加者がありました。

3 第49回中学生将棋名人戦（全国大会）が名古屋で開催

令和6年7月14日（日）、KKRホテル名古屋にて、「日本将棋連盟創立100周年記念東海東京証券杯第49回中学生将棋名人戦」が開催されました。主催は日本将棋連盟、特別協賛は東海東京証券株式会社、協賛はカロリーメイトでした。

中学生将棋名人戦は毎年東京において全国大会のみが開催されてきました。今年は日本将棋連盟創立100周年を記念して、全国14地区での予選大会を実施して、その予選を勝ち抜いた32名の選手が参加して全国大会が名古屋市内で開催されました。

藤井七冠の活躍など、東海地域の将棋の盛り上がりもあって、当地域で開催という段取りとなりました。開会式には藤井聡太七冠が出席し、開会あいさつを行うとともに、対局開始の合図を行いました。

結果は下記のとおりです。

優勝	準優勝	第三位
泉田 憲 (北関東地区代表)	梅内 悠登 (北東北地区代表)	木村 橙哉 (関西地区代表)
		三浦 寛人 (南東北地区代表)

4 第78回全日本アマチュア将棋名人戦愛知県大会で伊藤慧さんと白井亮太郎さんが優勝

7月15日、第78回全日本アマチュア将棋名人戦愛知県大会が開催され、54人が参加しました。

年々、若年層の参加者が増加しているように感じられますが、今回、代表権を獲得した伊藤慧さんと白井亮太郎さんは、共に学生とのことでした。

9月13日～15日に東京で開催される全国大会での活躍が大いに期待されます。

上位入賞者は次のとおりです。



優勝	準優勝	第三位
伊藤 慧 (瀬戸市)	水谷 創 (名古屋市北区)	井上 輝彦 (瀬戸市)
		渋谷 篤矢 (名古屋市中区)
白井 亮太郎 (豊橋市)	鈴木 祥平 (東海市)	山田 浩徳 (あま市)
		中山 翔太 (あま市)

5 蒲郡将棋名人戦Aクラスにかわいい女流棋士現る？



連日猛暑日が続いている中、去る8月4日に蒲郡市三谷公民館において第44回蒲郡将棋名人戦を開催することができました。

前回よりも参加者は少ないもの県内、県外から参加していただき、大熱戦を繰り広げていただきました。主催者として感謝しております。

さて、名人戦の競技についてですが、A、B、Cクラスに分かれて、自分の棋力に応じたクラスでの対戦になります。今回、Aクラスで2つの大きな出来事がありましたので紹介します。

1つめは、小学校6年生の山本さん（女子）が初めてAクラスに参加したことです。参加者は、山本さんの棋力がいかほどのものか興味津々でした。山本さんは大人を相手に物怖じせず、堂々とした差し回しで、予選リーグを突破し、決勝トーナメントに駒を進めました。

決勝トーナメント1回戦も勝ち上がり、2回戦で今回準優勝の富増さんと対戦し、最後の最後まで粘り強く指しましたが、惜敗をしました。しかし、蒲郡名人戦に山本さんが参加し、大健闘をする姿からは将来の女流棋士も夢ではないと、期待を抱くことができました。

2つめは、前回に引き続き、決勝戦は高見澤さんと富増さんの、2大会連続の同じ顔合わせになりました。一手一手、気迫のこもった手の応戦でしたが、高見澤さんが粘る富増さんをうちやちや、2連覇を果たしました。おめでとうございます。

Bクラスでは、幅広い年齢層の方々の対戦が多く観られました。対局はもちろん真剣勝負ですが、おじいちゃんと孫が対戦しているような微笑ましい対戦も数多くありました。優勝者は、幸田町から参加した大浦さんでした。おめでとうございます。次回は、Aクラスでの参加をお待ちしております。

Cクラスでは、小学生の対局がほとんどでした。マナーとしてはいけませんが、お互い知り合い同士ということもあって、対局中に話をしてしまう場面もありました。そして、勝敗がついた後には、第三者の小学生も加わって、感想戦をする姿が観られました。そうして、お互いが切磋琢磨して、強くなり、Bクラスでの対局を目指してほしいと思いました。



第44回蒲郡将棋名人戦が無事に終わることができ大変嬉しく思うとともに、蒲郡支部の中から将棋を楽しみながら強くなっていく小学生がますます増えてくれることを願っています。 蒲郡支部 指導員 壁谷雅道

	優勝	準優勝	第三位
Aクラス 17名	高見澤 勝利 (刈谷市)	富増 将斗 (名張市)	山本 航 (蒲郡市)
Bクラス 10名	大浦 裕 (幸田町)	川原 蒼太 (高浜市)	原田 旺季 (碧南市)
Cクラス 9名	小山 聖仁 (蒲郡市)	鈴木 瀧瑛 (蒲郡市)	清水 奏斗 (刈谷市)

6 こども将棋大会

- (1) と き 令和6年10月6日(日)
小学1年生～3年生 AM9時～受付 AM9時20分～開会式
小学4年生～6年生 PM0時30分～受付 PM0時50分～開会式
- (2) と ころ 亀岳林万松寺白龍館2階白龍ホール
名古屋市中区大須三丁目29-12
- (3) 定 員 各学年32名(先着順)
- (4) 申込方法 <https://que.digital.asahi.com/epost/11014613>
又は右のQRコードより 9月25日(水)締切
- (5) 主 催 朝日新聞社メディア事業本部
- (6) 特別協賛 豊田自動織機
- (7) 協 力 亀岳林万松寺 日本将棋連盟東海普及連合会



【東海普及連合会及び愛知県支部連合会の行事の日程】

- 8月11日(日・祝) 第5回小牧将棋の集い
8月12日(月・休) 名進研カップ第8回中部オール学生団体戦
8月18日(日) 夏休み瀬戸将棋グランプリ
10月6日(日) こども将棋大会(朝日新聞社メディア事業部)
10月14日(月・祝) 第13回J:COM杯3月のライオン子ども将棋大会東海大会

会報の配信をご希望の方は東海普及連合会事務所までご連絡ください。東海普及連合会のウェブサイト(<http://shogitokai.sakura.ne.jp>)からダウンロードもできます。東海普及連合会・愛知県支部連合会へのご意見がございましたら遠慮なくご連絡ください。

東海普及連合会・愛知県支部連合会事務所(平日PM1時～4時)
〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目12番21号第2栄スカイタウン4A
電話 052-253-9441 FAX 052-253-9442 E-mail shogi_tokai@ybb.ne.jp